

よこすか  
ライフプランナー通信

NEWS 「放課後子ども教室」が動き出しました。



横須賀市議会議員・よこすかライフプランナー

よ う じ ろ う

# 奥 洋 次 郎

生まれも育ちもハイランド/  
粟田小学校・関東学院六浦  
小中高・関東学院大学卒業/  
住宅メーカー・生命保険会社  
勤務/横須賀青年八日会会長  
歴任/自由民主党神奈川県  
横須賀市連合支部青年局長/  
42歳/A型ヤギ座

横須賀で暮らす人のために。  
教育には、もっとできることがあります。  
医療にも、もっとできることがあります。  
実は、課題いっぱい横須賀ですが、  
可能性いっぱい横須賀と考えたい。  
横須賀には、できることがまだまだある。  
横須賀にしかできないことが、たくさんある。  
「ヨコスカ最高!」と、住む人が思えるまちへ。  
住宅メーカーと生命保険会社で  
たくさん的人生と向き合ってきた経験を生かし、  
「よこすかライフプランナー」として、  
地元横須賀のまちづくりに尽くしていきます。

未来の横須賀を、  
こんな横須賀にしていきたい。  
そのために今からできることを  
どんどん進めていきます。

## 今の横須賀

豊かな自然に温暖な気候、人柄の良さ、都心からの近さ、歴史など、横須賀には良いところがたくさんありますが、その多くは天からの恵みや先人たちの努力の賜物。今を生きる私たちが新しい価値を生み出せずにいます。結果として、人や企業の流出が続いて税収が減り、財政的に苦くなり、目の前に山積する課題に追われる悪循環に陥っています。

横須賀がオンリーワンの存在となっていません。私たちが住むところを考える際に決め手となる教育や医療にオンリーワンがない。街中に人の感性をくすぐるオンリーワンのデザインやブランドがない。加えて、「とはいえ大丈夫だろう」という危機意識の薄さと、「誰かがやってくれるだろう」という当事者意識の薄さが蔓延している、そんな状況ではないでしょうか。

## 未来の横須賀

日本における国際的な情報の発信地“Yokosuka City”になっています。英会話やプログラミングなど日本人が不得手としてきたジャンルで国をリード。自信に溢れた横須賀の子ども達は積極的なチャレンジを続け、日本一の技術と人材の発信地に。街にはYRPなどで働く外国人技術者やその家族も歩いています。外国人のニーズを把握することに成功した横須賀はミシュランやトリップアドバイザーでも上位を独占。誰もが豊富な自然と新鮮な農作物や海産物とともにアウトドアライフを楽しんでいます。

人生100年時代。仕事を引退してからも新しいことにチャレンジできるユニバーサルな働き方の仕組みが整っており、シニアの皆さんはやりがいを持って働いています。そして、健康寿命も長く、元気に楽しく暮らしています。官民間問わず、年齢問わず、課題解決と可能性に勝負できる人材が様々なチャレンジによって新たな価値やデザインを創出。圧倒的なホスピタリティを持つ人材が市役所から育ち、市民の満足度は極めて高い。民間企業にも横須賀で働きたいという多くの人材が集まっています。結果、かつて2013年に日本で最も人口が減った横須賀は、勢いを取り戻し、横須賀のV字回復は少子高齢化に喘ぐ全国の市町村の希望となっています。

このような横須賀にしていくために、市民の皆さんや関係者のお話を伺い、先進事例や課題のある現場に出向いて情報を収集しながら、「自ら課題の解決を図る」「議会で提案、要望する」「市役所の関係部局と協働する」などして、今の、そして未来の横須賀がより良くなるように、今後も一層尽力していきます!

## 「放課後子ども教室」が動き出しました。

# 放課後に付加価値を。 地域の大人たちみんなで子どもを育てる横須賀へ。

小学生の皆さんが放課後に学習やさまざまな体験ができる「放課後子ども教室」。ここで、文化活動団体の皆さんにご指導いただき、子ども達がさまざまな文化活動を体験する取り組みが始まりました。子ども達は、核家族化が進み、人生の先輩方から学ぶ機会が減っています。一方で、横須賀の文化活動団体の多くは高齢化と承継問題に悩んでいます。そんな団体と子ども達を放課後の活動で繋げ、子ども達に上質な体験を、団体の皆さんにはやりがいと生き

がいを、そして興味を持った子ども達がいずれ後継者に、という思いから、市議会で提案しました。その後、関係部局や団体の皆さんとの打ち合わせを経て、この1月に、文化交流がスタート。子どもの学びと、大人のやりがいのマッチングは、今後も続いていきます。



## 1 次世代を担う人材の育成を。

人口減少による労働力不足、働き方の改革、さまざまな分野へのAI(人口知能)導入などにより、私たちの生き方も、社会が求める人材像も変わりつつあります。だからこそ、先を見据え、明日の横須賀、そして日本、世界を牽引する人を育成していく必要があります。市内外の有志と共に、将来にわたって「稼げる」「生き抜ける」「牽引できる」人材を育成する実践型教育の場の設立を進めていきます。

## 2 先進的なプログラミング人材育成を。

2020年の、新学習指導要領の全面实施により、小学校でプログラミング教育が必修になります。この大きな流れの中で横須賀の子ども達が牽引役となり、将来的に国内外で活躍できるよう、先進的な民間企業と協力して進める実践的な取り組みを支援していきます。



## 3 みんなが行きたくなる特定健診に。

横須賀市の「国民健康保険特定健康診査」の受診率は、30.5%(2017年度)。他の自治体では約5割が受診というところもあります。健康への関心を高めていかなければ、特定健診にゲームの要素を取り入れてイベント化したり、受診ポイント制を導入して次回受診に繋げるなど、できることを考えていきます。

## 4 健康寿命を延ばすため、予防歯科の充実を。

歯がないと認知症発症のリスクが高まるなど、予防歯科は健康長寿にとって重要な取り組みの一つです。すでに、市立保育園で実施されているフッ素の水溶液での「ぶくぶくうがい」は、幼少期に行うことで、大人になってむし歯になる確率が激減するというデータもあります。子どもの取り組みと併せ、大人の予防歯科を充実させることは、将来の医療費支出の軽減の観点からも非常に有効であり、具体的な方策を考えていきます。

## 5 医療・介護と地域の連携を。

医療や介護の悩みごとについて、専門家による講演会・相談会などを定期的に開催していきましょう。先日は認知症に関する講演会を開催しました。どんどん増やしていきたいと考えています。



# 田中洋次郎の「10の提案」

何かあれば、僕に言ってみてください。目の前の課題はもちろん、明日の横須賀にも目を向け、よこすかライフプランナーとして皆さんからの意見に耳を傾けながら、動き、解決し、提案していきます。

## 6 介護ワーカーのコミュニティサイトを。



介護ワーカーは需要がますます高まっていくため、人材確保・育成は重要な課題です。「介護ワーカー@横須賀」というコミュニティサイトを立ち上げ、人材登録と仕事履歴の紹介など、さまざまな情報交換の場にしていければと考えています。

## 7 救急医療センターでの待ち時間短縮を。

年末年始、インフルエンザが流行している時期などは長蛇の列。救急医療センターの皆さんのご尽力があっても、です。受付状況がインターネットで把握できるシステムを作るなどして、この状況を少しでも解消していきたいと考えています。

## 8 スムーズに預けられる病児保育へ。

子どもが病気になった時に、預け先を探して手続きするのは大変です。病児を預かる近隣施設の検索と予約が簡単にできるWEBサービスを展開していきたいと考えています。



## 9 みんなが輝く働き方の普及を。



農業分野に障がい者が就労する「農福連携」を可能にしたのは、仕事の細分化による障がい者の働き方の創出でした。このユニバーサルな働き方のノウハウを広げていけたら。子どもを育てながら働きたい方の就労や、何らかの事情で働けなくなってしまった方の社会復帰のきっかけなどに展開していけたらと考えています。

## 10 市役所から、戦略的な採用・人材育成を。

今の横須賀のために。未来の横須賀のために。市役所の人材をいかに確保し育成していくかは、最重要課題の一つだと考えます。横須賀が求める人材像を明らかにし、民間企業の事例なども研究しながら、どんな方法が効果的か、皆さんと一緒に考えていきます。



## 市政の動き

### 【教育・子育て】

#### （仮称）中央子ども園の整備場所を駅近に変更

老朽化した上町保育園と鶴が丘保育園を統合し、中心市街地での子育て支援拠点の機能強化を図るために計画されている（仮称）中央子ども園。従来は新港町の市有地に整備する予定でしたが、横須賀中央駅より近い市の既存施設をリノベーションすることで、保護者の利便性を高め、整備経費を抑える方向で調整が進められています。

### 【医療・健康・福祉】

#### うわまち病院建替え 移転予定地が決定

老朽化したうわまち病院の移転先について検討が進められていましたが、

駅からの距離、救急搬送の利便性などを考慮し、神明公園に決定しました。新病院の開設は2025年度の予定。今後、詳細な計画の策定に向け動き出します。同時に、移転跡地の活用についてもしっかり考えていく必要があります。

### 【経済・産業】

#### YRPに新たな研究施設が進出

建設機械用の油圧フィルタの売上で世界トップシェアを誇る企業が、研究開発拠点の整備のため、YRP地区内に土地を取得。2020年秋の操業開始を目標としており、市内での雇用の拡大や産業の活性化などが期待されます。また、隣接地には大型複合商業施設の建設も予定されており、YRPの土地利用が進んでいます。

### 横須賀港～北九州港 新規フェリー航路開設へ

横須賀港での定期航路が実現に向けて動き出しました。1日1便のデイリー運航で、2021年春の就航を目指しています。実現すれば、関東経済圏と九州経済圏を海で結ぶ物流と旅客の大動脈が形成されることになります。

### 【インフラ】

#### 追浜駅前交差点渋滞解消へ

慢性的に渋滞している国道16号の追浜駅前交差点。先般、市長が国土交通省を訪れ、交差点改良を要望したところですが、このたび、国道を拡幅し、夏島方面への右折レーンを新設するという方針が明らかになりました。

